

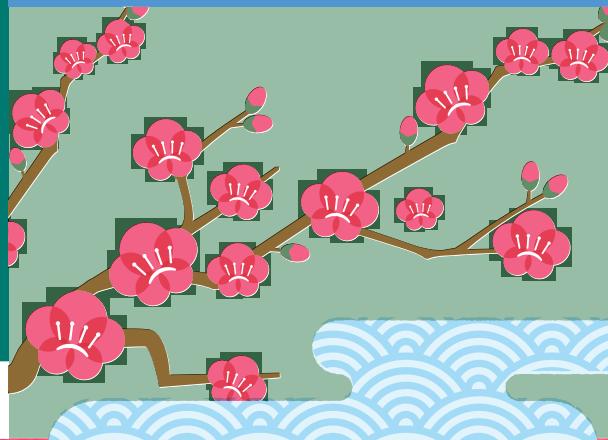


No.38
2016.1

Polaris

ポラリス

hokushin.jcho.go.jp



INDEX

院長から
3年目の「JCHO札幌北辰病院」に向けて

医療の現場から①
糖尿病内科の特徴と
インスリンポンプについて

医療の現場から②
栄養指導及び糖尿病教室について

こんにちは 医療連携・相談室です
『医療法人社団 圭光会 いなむら皮ふ科医院』

病院正面玄関前のスロープ完成のお知らせ
屋根付き歩道の電球をLEDに変更しました

インフルエンザ対策
産科休診のお知らせ
インフォメーション
●研修会のお知らせ(医療従事者対象)

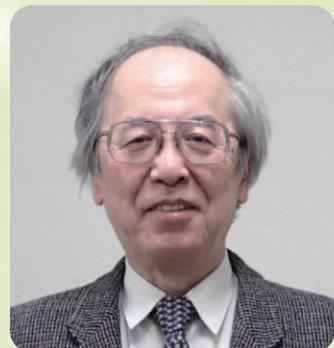


独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO札幌北辰病院



3年目の 「JCHO札幌北辰病院」 に向けて

院長 佐々木 文章



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、申(さる)年によき初春をお迎えのことと存じます。

当院が「独立行政法人地域医療推進機構札幌北辰病院」と名称を新たにしてから早くも2度目の正月を迎えました。当院は、本年も厚別地区やその周辺の地域医療を担う急性期病院としての役割を果たしてまいります。

本年は救急体制の充実、総合外来体制の充実を図っていき、地域のみなさま方や地域の医療機関に少しでもご満足いただける医療を提供していきたいと考えております。また、昨年は地域の方々を対象とした「いきいき健康教室」を開催することができませんでした。「もっと開催してほしい」との要望も耳にしておりますので、本年は開催回数を増やすよう努めます。取り上げてほしいテーマ、ご希望があれば是非お知らせください。

さて、今年の4月には診療報酬の改定が行われます。前回2014年の改定に引き続き、「病床機能分化」が一つの焦点となっており、前回の改定では急性期治療を終えた患者さんの在宅復帰支援を行う病棟である「地域包括ケア病棟」が新設され、札幌市内でもいくつかの病院でこの病棟が運営されています。

現在、当院は地域包括ケア病棟を設置しておらず、全ての病棟を急性期病棟(7対1入院基本料)として運営しております。しかし、超高齢社会の日本において、急性期医療だけ

の提供では地域のニーズを満たせません。急性期の治療を終えた患者さんをケアしながら早期に在宅復帰させる役割が急性期病院にも求められています。退院後の生活に不安を感じている入院患者さんから時折、「もっと長く入院させてほしい」との声を聞くことがあります。急性期病棟のみで運営している当院はその病棟の性質上、ご要望に応えられない場合もあります。

その為、そのような不安を抱える患者さんに対して在宅復帰に向けたケアを十分に受けてから退院していただけるように、現在当院でも地域包括ケア病棟を設置する計画を進めています。運用時期など詳しいことはまだ決まっておりませんが、その進捗状況についてはこの誌面を借りて皆様へ報告していきたいと考えております。

2016年も職員一同心を一つにして、少しでも地域医療に貢献できるよう努めます。地域の先生方におかれましては引き続きご支援・ご指導いただけるようよろしくお願い申し上げます。

本年も皆様にとって良い年であることを祈念いたします。



糖尿病内科の特徴と インスリンポンプ について

糖尿病内科 野田 学



当科は、糖尿病専門医2人で糖尿病を中心とした診療を行っております。腎臓内科、循環器内科、眼科などの関連する診療科とも連携し、糖尿病の合併症に広く対応しています。糖尿病以外にも、生活習慣病、甲状腺などの内分泌代謝疾患の加療も行なっております。

本日は、主に若年および妊娠している1型糖尿病の患者さまによく用いられるインスリンポンプについてご紹介いたします。

インスリンポンプが開発されてから早50年近くが経ち、現在では全世界の1型、2型糖尿病患者の60万人以上にインスリンポンプは利用されています。ポンプがもっとも普及している国はアメリカで、インスリン使用中の糖尿病人口の約20数%が使用しているといわれており、広く認知されておりますが、日本においてはまだ認知度・普及率ともに低いのが現状です。ここでは、インスリンポンプ療法に関する国内外の情報をを集め、ご紹介いたします。

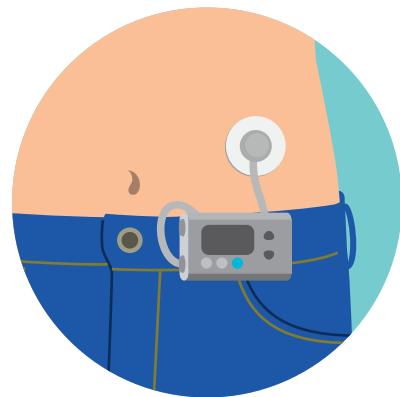
インスリンポンプによるCSII療法は、ポンプによりインスリンの基礎分泌(basal)を自動で持続的に注入し、またそれぞれの食事の前に追加注入(bolus)をポンプから手動でおこなう方法で、現在のインスリン補充療法のなかで、最も生理的なインスリン分泌に近似した治療を可能にしています。

頻回注射法に比べて針を刺す回数が少なくて済むこと、生活や血糖値の変動に合わせて調整できることなど、HbA1cを低下させるなどのイン

スリンポンプの有用性がうたわれていながら、まだ国内では医療コスト、患者の教育体制の不備の問題などで普及が進んでおりません。

2014年12月には、インスリンポンプに持続血糖測定機能を搭載した「ミニメド 620G インスリンポンプ」が発売されました。これは画期的ともいえるポンプの進化であり、血糖変動を患者自らが隨時確認できるようになり、更に適切なインスリン量調整が可能となりました。これにより、高血糖と低血糖リスクの低減が期待されています。また、今までの機種では英語表示で感覚的に難しかった機械操作も、本機種では日本語表示とカラー画面が導入され、非常に使い勝手がよくなりました。

インスリンポンプはすべての糖尿病患者に勧められるわけではなく、病院側としても入院での患者さまの教育、細かなインスリン流量の指示などに膨大な時間が割かれてしまいます。そのため、対象者の数はおのずと制限されますが、この治療を望んでおり、なおかつ治療の適応となる患者がいらっしゃれば対応いたしますので、是非当科にご相談ください。





医療の
現場から

2

栄養指導及び 糖尿病教室について

管理栄養士 関屋 恒子



厚生労働省より発表された「平成24年国民健康・栄養調査」の結果では、わが国で糖尿病が強く疑われる人は約950万人、糖尿病の予備軍が約1,100万人いると推定されています。2011年(平成23年)人口動態統計月報年計(概数)の概況では、死亡原因としての糖尿病は下位(男は圏外、女は10位)ではありますが、死亡原因上位の脳卒中や虚血性疾患、悪性新生物のリスクであることや、糖尿病腎症や神経障害など糖尿病に関連した合併症が重要な問題となっています。

第二次大戦後、糖尿病患者が自動車の登録台数に比例して増加したことから、運動不足に加え食生活習慣の変化による影響が大きいことが示唆されています。糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病では、治療の継続が必要です。とりわけ糖尿病は治療中断が合併症の発症や進展に繋がることが多いですが、生活習慣の改善が思わしくなくても、通院行動を継続する限り望ましい治療行動に修正できる可能性はあるといわれています。管理栄養士はその治療の一端を担い、できる限りの継続栄養食事指導を目標としています。

当病院の管理栄養士は6名が糖尿病療養指導士の資格を有し、日本糖尿病学会専門医の指導の下、入院個人栄養食事指導、外来個人栄養食事指導、集団栄養食事指導、糖尿病透析予防指導を行っています。

個人栄養指導は、入院時は各病棟担当の管理栄養士が食事療法の基本や治療食を通して退院後に向けた栄養食事指導を行い、外来では管理栄養士2名が退院後のフォローや外来患者様への食事療法の基本のほか、外食や間食、アルコールなど実際の個々の食生活環境に合わせた指導を行っています。そのほか、体組成計を用いて体重だけではなく体脂肪率や筋肉量などの測定も行いながら指導を行っています(図1)。



集団栄養指導は年8回(2015年度)、基礎編とテーマ別で開催しています。

基礎編では個々に合わせた病院食を実際に食べていただき、食事量や味付けなどを学んでいただいている。テーマ別では果物や飲み物、年末年始など季節に応じたテーマを設けてクイズ形式などを取り入れた参加型で行っています。どちらも毎回好評をいただいている、毎回参加していただいている患者様もいます(写真参照)。

糖尿病透析予防指導では、医師、看護師、管理栄養士で構成されたチームの中で、腎機能低下が見受けられる糖尿病患者を抽出し、患者の同意を得て将来透析に移行しないための指導を行っています。

最近はインターネットやテレビなどの影響で健康志向の強い方が多く、生活習慣も多様化しています。私たち管理栄養士も日々研鑽し患者一人一人に向き合った栄養食事指導を心がけています。



医療法人社団 圭光会
いなむら皮ふ科医院

今回は、いなむら皮ふ科医院院長 稲村 圭一先生にお話を伺いました。上野幌の住宅街に新さっぽろ駅からバスで15分ほどに位置するグリーンの建物です。

稻村院長先生をはじめ、看護師8名、事務職員4名の皆様で一般診療・美容診療にあたられており、遠方からも患者様が来られています。

病院の特徴について教えてください

当院は上野幌に開院して25年になります。自身の専門は皮膚科ですが、現在はシミやしわ、ニキビ痕などの美容診療も行っております。診療は朝9時から平日は夜7時までで、やけどや切創などの処置も対応しています。また、粉瘤などの皮膚腫瘍の切除も局所麻酔の範囲ではありますが予約制で行っております。美容診療では、薬の投与だけではなく、患者様のお肌に合ったレーザー・光治療、イオン導入などの美容治療をご提案、施行しております。一般診療、美容診療ともに患者様の安全と治療の成功を第一に、新しく良質な医療の提供を行えるよう邁進しております。

医療連携に対するお考えをお聞かせください

無床診療所ですので、入院加療や専門的な治療が必要な場合には札幌北辰病院の各科の先生方には大変お世話になっております。特に皮膚科の松村先生、安藤先生には当院で診断・治療に困った時などいつも快く引き受けて頂き、心強く思っております。

医療連携の中、頼ることばかりではあります、今後ともよろしくお願い致します。

医療法人社団 圭光会
いなむら皮ふ科医院

〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条4丁目9-14
TEL:011-891-3401 FAX:011-891-3408
<http://www.inamurahifuka.or.jp>

こんにちは
医療連携・相談室です
日頃、連携をさせて頂いている
先生方を紹介します。



▲院長の稻村 圭一先生



明るく清潔な待合室▶
院内はバリアフリーです



▲グリーンの建物に赤い看板が目印です





病院正面玄関前のスロープ完成のお知らせ

これまで、当院の車寄せスペースは歩道と車道との間に段差があったため患者様から「車の乗り降りが大変」とご意見をいただきしており、ご利用の際にはご不便をおかけしておりました。

そこで、いただいたご意見をもとに当院の患者満足度委員会が主体となって「車寄せスペースのスロープ化計画」が進められ、ついに11月1日(日)スロープが完成いたしました!!

スロープは全長30m以上あり、一度にたくさんの方々にバリアフリーな場所で乗り降りいただけるようになっております。

これから寒い季節になりますので、ご来院の際はぜひご利用ください。



●屋根付き歩道の電球をLEDに変更しました

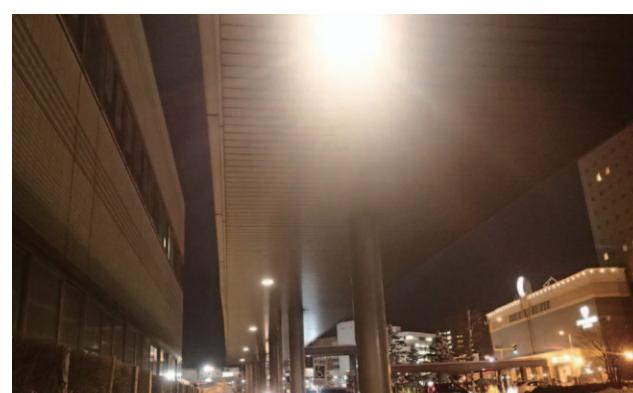
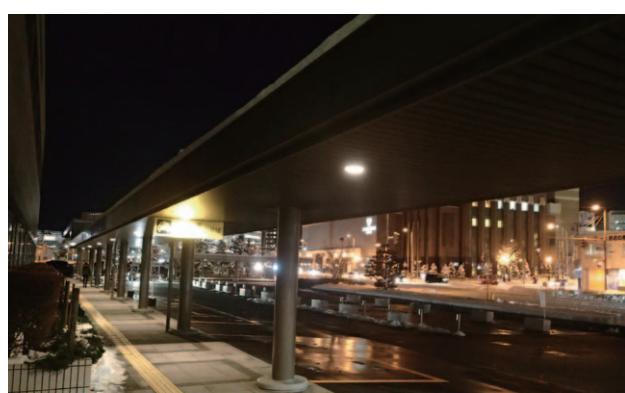
当院の正面入口から地下鉄新さっぽろ駅の9番出口までは屋根付きの歩道を設置しています。屋根には電球が設置されており夜間は点灯するようになっております。

その電球はこれまで白熱灯を使用していましたが、明るさアップとコストダウンを目的にこの度LEDに変更しました!

実際に夜歩いてみると、以前よりも明るく足

下を照らしてくれています。コスト面でも電気代は元より、電球の寿命も10年以上ということで、一定の効果が得られそうです。

病院の建物は築25年を超え、今回の電球もそうですが老朽化が進んでいる箇所もありますので、ご利用いただく方が不便に感じないよう今後も修繕をしていきたいと思います。



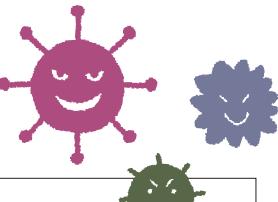
●インフルエンザ対策

インフルエンザの症状チェック

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。

チェックされた症状が多いほど、インフルエンザの疑いが高いといえます。

インフルエンザの症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。



- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地域内(職場や学校、家族)でのインフルエンザの流行 | <input type="checkbox"/> 咳・鼻水・くしゃみ |
| <input type="checkbox"/> 38℃以上の急激な発熱 | <input type="checkbox"/> のどの痛み |
| <input type="checkbox"/> 全身の関節痛・筋肉痛 | <input type="checkbox"/> 強い倦怠感・疲労感 |
| | <input type="checkbox"/> 頭痛 |

※新型インフルエンザでは、吐き気や下痢などの症状が出る場合があります。

産科休診のお知らせ

平成28年4月より、産婦人科の常勤医師が1名となるため、同月以降の産科診療を当面休止することいたしました。なお、婦人科診療につきましては、診療および手術内容ともにこれまで通り診療いたします。

皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



インフォメーション

【研修会のお知らせ(医療従事者対象)】

2月17日水

19:00~20:30

新さっぽろ栄養士連絡会

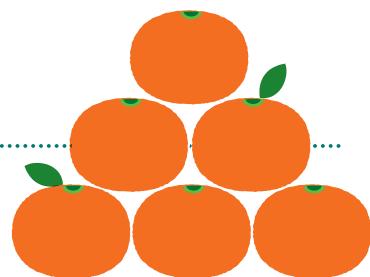
「術後の消化機能」(講師:当院 外科医)

3月16日水

19:00~20:30

新さっぽろ栄養士連絡会

「糖尿病と網膜症」(当院 眼科医)



●詳細が決まり次第当院ホームページでご案内いたします。お気軽にお電話でお問い合わせください。

外来担当医師一覧

平成28年1月1日現在

受付時間	面会時間	予約及び予約変更受付
午前/ 8:00~11:00 午後/12:30~15:00 ●土曜、日曜、祝日は休診	午後/13:00~19:30	午後/14:00~17:00 ●土・日・祝日を除く ●小児科のみは時間内で予約も変更も可能

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合診療科	午前	中村(吉田)	安達	安達	渡邊	安達	
		渡邊	渡邊	渡邊	中村	渡邊	
	午後(再来予約)	安達/渡邊	—	安達/渡邊	—	安達/渡邊	
内科	糖尿病 午前	増田	野田	野田	増田	増田	
		—	相川	(増田)	相川	—	
	糖尿病 午後	—	—	—	野田	—	
	腎臓病 午前	豊山	—	江端	—	山田	
	腎臓病 午後	豊山	—	江端	—	山田	
	呼吸器 午前	相坂	吳	成田	相坂	成田	
	呼吸器 午後	—	—	—	—	—	
消化器	午前	高木(智)	福島	今井/吉田	高木(智)	福島	
	午後	今井	—	吉田	—	—	
循環器	午前	北	川向	—	北	北(ペースメーカー)	※ペースメーカー外来は第2・4週
		内藤	—	—	—	中原	
	午後	—	中野	中原	内藤	中野	
リウマチ科	午前	嶋村	—	—	加藤	—	
血液	午後	—	安達	—	安達	—	
小児科	午前	東館	木澤	伊藤	稻澤	東館	
	(一般)	稻澤	—	稻澤	伊藤	木澤	※午後の一般外来は予約・紹介優先
	午後(専門外来)	伊藤(神経外来) 木澤(リウマチ外来) 学童ワクチン(予約制)	乳児健診(1歳まで) 予約注射・予防接種(予約制) 第1・3週:稻澤(血液/フォロー)	東館(川崎病外来) 手代木(精神衛生相談)	東館(心臓外来)	伊藤(神経外来)	※専門外来は完全予約制
	午前	脇坂	中川	横山(良)	高橋	佐々木 旭	
	午後	高橋	佐々木 中川	横山(良)	高橋	旭	
外科	午前	—	中川	横山(良)	—	旭	
	午後	—	中川	横山(良)	—	旭	
	午前	脇坂	高橋	横山(良)	高橋	旭	
	午後	高橋	—	横山(良)	高橋	—	
	午前	—	—	—	予約制	—	
整形外科	午後	予約制	—	—	—	—	
	午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
	午前	安藤(亮)	松本	安藤(亮)	松本	安藤(亮)	
皮膚科	午後	松本	祐川	祐川	祐川	祐川/下段	※第4金曜のみ:下段
	午前	祐川	松本	(手術)	安藤(亮)	(手術)	
	午後	松村	松村	松村	松村	松村	
泌尿器科	午前	松村	安藤(佐)	安藤(佐)	安藤(佐)	安藤(佐)	
	午後	松村	安藤(佐)	安藤(佐)	(手術)	安藤(佐)	
	午前	松田	松田	松田	松田	松田	
産婦人科	午後	三橋	三橋	三橋	三橋	三橋	
	午前	松田	(手術)	松田	(手術)	松田	
	午後	三橋	(手術)	三橋	(手術)	三橋	
	午前	(産科) (婦人科)	足立(清) 足立(英)	足立(英)	沼田	沼田	※専門外来は予約制
眼科	午後	(産科) (婦人科)	足立(清) 足立(英)	足立(英)	沼田	足立(英)	※火曜午後の受付は13:30~15:00
	午前	(手術)	足立(英)	足立(清)	(手術)	足立(清)/沼田	産後健診 12:30~13:00
	午後	(手術)	足立(清)	沼田	(手術)	足立(清)/沼田	※金曜午後:第1・3・5週
	午前	母乳外来	産後健診	—	母乳外来	母親学級	※足立(清)、第2・4週沼田
耳鼻咽喉科	午後(予約制)	母乳外来	—	—	—	—	※母親学級 第4週のみ
	午前	廣瀬(予約制)	廣瀬	廣瀬	廣瀬	廣瀬	※3才児健診は予約制
	午後(予約制)	(手術/予約検査)	横山(千)	横山(千)	横山(千)	横山(千)	※水曜日の受付時間は午前10時まで
放射線診断科	午前	廣瀬	(手術)	栗原	栗原	栗原	
	午後	横山(千)		稻村	寺田	稻村	
	午前	(手術)		寺田	—	寺田	
午後	(手術)		栗原	稻村	寺田	寺田	
	(手術)		稻村	寺田	—	予約検査・処置	
午前	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川	(検査)	
午後	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川	

※都合により代診・休診となる場合がございますので、事前にご確認願います。 ※各科の午後の(手術)(検査)(乳児健診・予防接種)は、診療時間の調整が必要ですので電話で確認してください。

JCHO札幌北辰病院広報誌「ポラリス」

発行責任者 佐々木文章

発行 〒004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2番1号 JCHO札幌北辰病院
集編 広報部会 【事務局】総務企画課 TEL.011-893-3000

病院の最新情報は

JCHO札幌北辰病院ホームページ

ジェイコー札幌北辰病院

検索

hokushin.jcho.go.jp

Facebookはじめました

<https://www.facebook.com/jcho.sapporo.hokushin>

